

ADOBE® PROVISIONING TOOLKIT ENTERPRISE EDITION

技術ノート

© 2012 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

Adobe® Application Manager Enterprise Edition エンタープライズ展開ガイド

This guide is licensed for use under the terms of the Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the guide for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the guide; and (2) any reuse or distribution of the guide contains a notice that use of the guide is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/>

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Adobe Audition, Adobe Bridge, Adobe Device Central, Adobe OnLocation, Adobe Premiere, Adobe Premiere Pro, Adobe Technical Communication Suite, After Effects, Contribute, Captivate, Creative Suite, CS Live, Dreamweaver, Encore, Fireworks, Flash, Flash Builder, Flash Catalyst, FrameMaker, Illustrator, InDesign, Photoshop, RoboHelp, SiteCatalyst, and Soundbooth are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Apple, Mac, and Mac OS are trademarks of Apple Inc., registered in the United States and other countries. Microsoft, Windows, and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. UNIX is a registered trademark of The Open Group in the US and other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

目次

Adobe Provisioning Toolkit Enterprise Edition	4
はじめに	4
Adobe Provisioning Toolkit Enterprise Edition の使用	4
Creative Suite 6 の場合の構文	5
パッケージのシリアルライズ	5
シリアルライズ中のユーザー登録の抑制	5
パッケージのシリアルライズ解除	5
ユーザーがオフラインである場合のパッケージのシリアルライズ	6
エンタープライズユーザーのためのパッケージのシリアルライズ	7
ユーザーインターフェイスを備えていない製品の体験版の起動	8
シリアルライズされた製品のユーザー登録を抑制	8
ユーザー登録の抑制	8
EULA への同意	9
EULA の抑制	9
Adobe Application Manager Enterprise Edition を使用したシリアルライズ	9
Creative Suite 5.5 および Creative Suite 5 の場合の構文	9
構文の説明	9
MakeReplacementSN	10
ログ記録	10
Creative Suite 6 のエラーコード	11
Creative Suite 5.5 および Creative Suite 5 のエラーコード	11
製品 ID	11
ロケールコード	12
シリアルライズの例	13
Creative Suite 6	13
Creative Suite 5.5 および Creative Suite 5	14

Adobe Provisioning Toolkit Enterprise Edition

Adobe Provisioning Toolkit Enterprise Edition は、Adobe Application Manager Enterprise Edition を使用して展開したアドビ製品のシリアルライズを追跡および管理するためのサポート対象プラットフォームのコマンドラインツールです。

このツールキットは、DevNet のエンタープライズデプロイメントのページ (<http://www.adobe.com/jp/devnet/creativesuite/enterprisedeployment.html>) からダウンロードすることができます。

注意: Adobe Application Manager Enterprise Edition を使用して、シリアルライズされたパッケージを作成する場合や、体験版パッケージをシリアルライズする場合、Adobe Provisioning Toolkit Enterprise Edition が必要ではないこともあります。

このセクションの内容：

- ◆ [「はじめに」](#)
- ◆ [「Adobe Provisioning Toolkit Enterprise Edition の使用」](#)
 - ◆ [「Creative Suite 6 の場合の構文」](#)
 - ◆ [「Creative Suite 5.5 および Creative Suite 5 の場合の構文」](#)
 - ◆ [「ログ記録」](#)
 - ◆ [「製品 ID」](#)
 - ◆ [「ロケールコード」](#)
- ◆ [「シリアルライズの例」](#)
 - ◆ [「Creative Suite 6」](#)
 - ◆ [「Creative Suite 5.5 および Creative Suite 5」](#)

はじめに

このツールキットには、インストール済みの製品のシリアルライゼーションの管理を簡単に行うことができるコマンドが用意されています。このような作業は次のような場合に必要になります。Creative Suite 6 では、シリアルライズを正しく完了するためにユーザーはオンラインで作業する必要があります。ただし、インターネットに接続されていないクライアントコンピューターがある場合、Adobe Provisioning Toolkit Enterprise Edition を使用してコンピューター上のパッケージをシリアルライズすることができます。

Adobe Provisioning Toolkit Enterprise Edition の使用

ツールの構文は次のパッケージの種類によって異なります。

- ◆ Creative Suite 6
- ◆ Creative Suite 5 および 5.5

このドキュメントでは、両方の場合の構文を示しています。ツールキット自体はプラットフォーム固有の実行可能ファイル `adobe_prtk.exe` (Windows の場合) または `adobe_prtk` (Mac OS の場合) です。

このツールキットには次のような処理を実行するコマンドが含まれています。

- ◆ 展開済みの製品のシリアルライズまたはシリアルライズ解除
- ◆ その他のアクション（オフラインライセンス認証を完了するための要求コードの生成や応答コードの受け入れなど）を実行できます（Creative Suite 6 の場合）

DOS コマンドシェル（Windows の場合）またはターミナル（Mac OS の場合）を起動し、実行可能ファイルをダウンロードしたフォルダーに移動して、コマンドを呼び出します。このツールの構文については、以降の各セクションを参照してください。

Creative Suite 6 の場合の構文

パッケージのシリアルライズ

パッケージをシリアルライズするには、次のコマンドを使用します。

```
adobe_prtk --tool=Serialize --leid=LEID --serial=serialNum --adobeid=AdobeID
```

引数：

<code>--leid LEID</code>	製品のライセンス ID（「製品 ID」を参照）。
<code>--serial serialNum</code>	パッケージのシリアル番号。
<code>--adobeid AdobeID</code>	ユーザーの Adobe ID。

注意： `adobe_prtk --h` コマンドを実行したときに画面に表示される使用方法のガイダンスには、シリアルライズ用の `personGUID <personGUID>` オプションの使用方法が示されます。ただし、このオプションは必須ではありません。実際にこのコマンドを使用するときには指定しないでください。

シリアルライズ中のユーザー登録の抑制

パッケージのシリアルライズ中にユーザー登録のプロンプトが表示されないようにするには、次のコマンドを使用します。

```
adobe_prtk --tool=Serialize --leid=<LEID> --serial=<serialNum> --regsuppress=ss
```

引数：

<code>--leid LEID</code>	製品のライセンス ID（「製品 ID」を参照）。
<code>--serial serialNum</code>	パッケージのシリアル番号。
<code>--regsuppress=ss</code>	ユーザー登録プロンプト / Adobe ID 入力プロンプトを抑制。

注意： このコマンドには、Adobe Application Manager の最新バージョンが必要です。最新バージョンの Adobe Application Manager は、http://www.adobe.com/go/applicationmanager_jp からダウンロードできます。

パッケージのシリアルライズ解除

パッケージをシリアルライズ解除するには、次のコマンドを使用します。

```
adobe_prtk --tool=UnSerialize --leid=<LEID> [--locale=locale] [--deactivate]
[--removeSWTag]
```

注意： このコマンドには、Adobe Application Manager の最新バージョンが必要です。最新バージョンの Adobe Application Manager は、http://www.adobe.com/go/applicationmanager_jp からダウンロードできます。

引数:

<code>--leid LEID</code>	製品のライセンス ID (「製品 ID」 を参照)。
<code>--locale locale</code>	(オプション) ロケールコード。コードと対応するロケールの一覧については、 「ロケールコード」 を参照してください。
<code>--deactivate</code>	(オプション) システムの対応するライセンスを無効化。
<code>--removeSWTag</code>	SWTag ファイルを削除。 SWTag は、ISO/IEC 標準 (ISO/IEC 19770-2) により作成された、ソフトウェアアプリケーションタイトル用のユニバーサル ID タグファイルです。これらのファイルにより、正確かつ一貫した自動的な手法でのソフトウェアアセットの検出および管理が可能になります。

注意: `--deactivate` オプションを使用すると、有効なライセンスがシステムに存在する場合に限り、SWTag ファイルが暗黙的に削除されます。

ユーザーがオフラインである場合のパッケージのシリアルライズ

Creative Suite 6 では、シリアルライズを正しく完了するためにユーザーはオンラインで作業する必要があります。ただし、インターネットに接続されていないクライアントコンピューターがある場合、次の `Type1Exception` プロセスと呼ばれるプロセスに従ってパッケージをシリアルライズできます。

このプロセスでは、オフラインのクライアントコンピューター上でキーコードを生成する必要があります。このキーコードは、オンラインのコンピューターから応答コードを生成するために使用されます。オンラインのコンピューターを使用して生成された応答コードを使用して、オフラインのクライアントコンピューター上でパッケージをシリアル化します。

このプロセスは、パッケージ製品をご購入のお客様とボリュームライセンスをご利用のお客様のいずれの場合も使用できます。

1. オフラインのクライアントコンピューターで、次のコマンドを実行してライセンス認証の要求コードを生成します。

```
adobe_prtk --tool=Type1Exception --generate --serial=serialNum
```

ここで、`serialNum` はシリアル番号です。

このコマンドは、44 文字の要求コードを返します。

2. オンラインになっているコンピューターを使用して、AOES Web サイトにアクセスします。

```
https://exception.licenses.adobe.com/aoes/aoes/v1/t1
```

3. AOES Web サイトで、Adobe ID を使用してログインします。
4. 認証時に、アドビ製品のシリアル番号と、手順 1 で生成された要求コードを入力します。ライセンス認証サービスで正常にライセンス認証が行われると、応答コードが表示されます。
5. 応答コードをメモします。
6. オフラインのクライアントコンピューターで、次のコマンドを実行してパッケージをライセンス認証します。

```
adobe_prtk --tool=Type1Exception accept --serial=serialNum
--responsecode=responseCode --leid=LEID
```

ここで、

- `serialNum` はシリアル番号です。
- `responseCode` は手順 4 でオンラインのコンピューター上で生成されるコードです。
- `LEID` は製品のライセンス ID です ([「製品 ID」](#)を参照)。

エンタープライズユーザーのためのパッケージのシリアルライズ

エンタープライズ展開用のパッケージをシリアルライズする大まかな手順は次のとおりです。

1. 企業の管理者が、関連するプロビジョニング情報が含まれる prov.xml ファイルを作成します。このファイルを作成するには、インターネット接続が必要です。
2. 作成した prov.xml ファイルを使用して、管理者がクライアントマシン上に展開されているパッケージのシリアルライズおよびライセンス認証を行います。このとき、ボリュームシリアルライズコマンドを使います。

prov.xml の作成

エンタープライズ展開に AAMEE を使用しない製品の prov.xml ファイルを作成するには、管理者として次のコマンドを実行します。

```
adobe_prtk --tool=VolumeSerialize --generate --serial=<serialnum> --leid=<LEID of product> [--regsuppress=ss] [--eulasuppress]
[--locales=limited list of locales in xx_XX format or ALL]
[--provfilepath=<Absolute path to prov.xml>]
```

作成した prov.xml ファイルを使用して、既に体験版モードで展開されているパッケージをシリアルライズおよびライセンス認証できます。

引数：

--serial serialNum	シリアル番号
--leid LEID	製品のライセンス ID (「製品 ID」 を参照)。
--regsuppress=ss	(オプション) ユーザー登録を抑制。
--eulasuppress	(オプション) EULA プロンプトを抑制。
--locales	(オプション) xx_XX 形式の限られたロケールのリストまたは ALL から指定。
--provfilepath	(オプション) prov.xml を作成するフォルダーのパス。このパラメーターが指定されていない場合、prov.xml は、APTEE が格納されているフォルダーに作成されます。

注意および推奨事項：

- ◆ このコマンドは、製品がインストールされていなくても実行できます。
- ◆ このコマンドを実行するコンピューターがインターネットに接続していることを確認します。
- ◆ 大量使用する場合の prov.xml の作成時には、パラメーター --regsuppress=ss を使用して、ユーザー登録を抑制することをお勧めします。

パッケージのボリュームシリアルライズ

管理者がクライアントマシンに展開されたパッケージのシリアルライズとライセンス認証を行うには、次のコマンドを使用します。

```
adobe_prtk --tool=VolumeSerialize [--provfile=<Absolute path to prov.xml>] --stream
```

注意：このコマンドには、Adobe Application Manager の最新バージョンが必要です。最新バージョンの Adobe Application Manager は、http://www.adobe.com/go/applicationmanager_jp からダウンロードできます。

引数:

<code>--provfile</code>	(オプション) <code>prov.xml</code> の絶対パス。この引数が指定されていない場合、 <code>prov.xml</code> の保存場所は、APTEE が格納されているフォルダーになります。
<code>--stream</code>	(オプション) このオプションは、企業がイメージングツールを使用してライセンスパッケージを様々なマシンに展開するときに使用します。

このコマンドは、AAMEE または APTEE の `generate` コマンドを使用して `prov.xml` ファイルを作成してから呼び出します。現在エンタープライズ展開に AAMEE を使用していない製品にもこのコマンドを使用できます。

ユーザーインターフェイスを備えていない製品の体験版の起動

Adobe® InDesign® CS6 Server などの一部の製品にはユーザーインターフェイスがありません。このような製品の場合、次のコマンドを使用して体験版を起動します。

```
adobe_prtk --tool=StartTrial --leid=LEID
```

ここで、`LEID` は製品のライセンス ID です ([「製品 ID」](#) を参照)。

シリアル化された製品のユーザー登録を抑制

シリアル化された製品のユーザー登録プロンプトが表示されないようにするには、次のコマンドを管理者として実行します。これにより、Adobe ID を指定することなく製品を使用できます。

```
adobe_prtk --tool=Register --leid=DriverLEID --regsuppress=ss
```

引数:

<code>--leid LEID</code>	製品のライセンス ID (「製品 ID」 を参照)。
<code>--regsuppress=ss</code>	ユーザー登録プロンプトを抑制。この設定により、Adobe ID 入力プロンプトが表示されなくなります。

注意: このコマンドには、Adobe Application Manager の最新バージョンが必要です。最新バージョンの Adobe Application Manager は、http://www.adobe.com/go/applicationmanager_jp からダウンロードできます。

ユーザー登録の抑制

Creative Suite 6 では、コンピューターがオンラインである場合、ユーザーは自分の Adobe ID を使用してユーザー登録をする必要があります。ただし、`RegisterTrial` コマンドを使用して、指定された製品のユーザー登録を抑制できます。

```
adobe_prtk --tool=RegisterTrial --driveradobecode=driverAdobeCode
[--adobeid=adobeID] [--personguid=personGUID]
```

- ここで、`driverAdobeCode` はメディア署名であり、`Setup.xml` ファイル内で見つけることができます。このファイルのパスは `<Installer location>\payloads\` です。
- `adobeID` はユーザーの Adobe ID です。

注意: `adobe_prtk --h` コマンドを実行したときに画面に表示される使用方法のガイダンスには、シリアル化用の `personGUID <personGUID>` オプションの使用方法が示されます。ただし、このオプションは必須ではありません。実際にこのコマンドを使用するときには指定しないでください。

EULA への同意

エンドユーザー使用許諾契約書 (EULA) プロンプトに同意するには、次のコマンドを使用します。

```
adobe_prtk --tool=EULA --leid=DriverLEID --eulaaccept --locale=locale
```

引数:

<code>--leid LEID</code>	製品のライセンス ID (「製品 ID」 を参照)。
<code>--locale locale</code>	(オプション) ロケールコード。コードと対応するロケールの一覧については、 「ロケールコード」 を参照してください。

EULA の抑制

エンドユーザー使用許諾契約書 (EULA) プロンプトが表示されないようにするには、管理者として次のコマンドを実行します。

```
adobe_prtk --tool=EULA --leid=DriverLEID --eulasuppress
```

引数:

<code>--leid LEID</code>	製品のライセンス ID (「製品 ID」 を参照)。
--------------------------	---

Adobe Application Manager Enterprise Edition を使用したシリアルライズ

Adobe Application Manager Enterprise Edition (AAMEE) を使用して、クライアントコンピューターで体験版パッケージをシリアルライズすることができます。詳しくは、AAMEE 展開ガイドの「CS 6 シリアルライゼーションファイルの作成」を参照してください。

Creative Suite 5.5 および Creative Suite 5 の場合の構文

```
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --serialize=LEID --serial=SN
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --unserialize=LEID [--locale=locale]
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --reserialize=LEID --replacement=pseudoSN
adobe_prtk --tool=MakeReplacementSN --old=oldSN --new=newSN
```

構文の説明

ReplaceSN

現在のコンピューターにインストールされている製品のシリアル番号を置き換えます。1 回の呼び出しで複数のアクションを実行できるように、様々な形式を組み合わせることができます。

serialize オプション

```
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --serialize=LEID --serial=SN
```

引数:

<code>--serialize LEID</code>	製品のライセンス ID (「製品 ID」 を参照)。
<code>--serial SN</code>	新しいシリアル番号。

指定されたシリアル番号を指定された製品に適用します。製品の事前シリアルライズのみが行われている場合は、新しい番号を置き換え用の事前シリアルライズとして適用します。それ以外の場合は、シリアル番号を検証し、そのシリアル番号を適切なロケールに適用し、そのロケールの既存のシリアル番号を置き換えます。

unserialize オプション

```
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --unserialize=LEID [ --locale=locale ]
```

引数:

<code>--unserialize LEID</code>	製品のライセンス ID。
<code>--locale locale</code>	(オプション) ロケールコード。コードと対応するロケールの一覧については、 「ロケールコード」 を参照してください。

事前シリアルライズを含め、特定の製品に適用された既存の体験版以外のシリアルライズをすべて削除します。ロケールが指定されている場合は、そのロケールのシリアルライズのみを削除します。

reserialize オプション

```
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --reserialize=LEID --replacement=newSN
```

引数:

<code>--reserialize LEID</code>	製品のライセンス ID (「製品 ID」 を参照)。
<code>--replacement pseudoSN</code>	「MakeReplacementSN」 コマンドで作成され、暗号化された置き換え用のシリアル番号。

指定された製品のすべてのシリアルライズ (事前シリアルライズを含む) の中から、置き換え用のシリアル番号を正しく復号化できる既存のシリアル番号のシリアルライズを見つけ、製品のシリアル番号を置き換えます。

MakeReplacementSN

このヘルパー関数は、新しいシリアル番号を暗号化し、古いシリアル番号を使用してそれを復号化できるようにします。この関数を管理システムで実行した結果を保存し、クライアントコンピューターの [「ReplaceSN」](#) コマンドの [「reserialize オプション」](#) オプションで使用します。

```
adobe_prtk --tool=MakeReplacementSN --old=oldSN --new=newSN
```

引数:

<code>--old=oldSN</code>	置き換えられるシリアル番号。
<code>--new newSN</code>	新しいシリアル番号。

戻り値: 疑似シリアル番号。新しいシリアル番号を単に暗号化したもので、[「ReplaceSN」](#) コマンドの [「reserialize オプション」](#) オプションに渡されます。

ログ記録

ツールによって、各コマンドの結果と進捗状況に関する情報がライセンスログに書き込まれます。

<code>oobelib.log</code>	Windows での場所: %temp%
	Mac OS での場所: /tmp/

以下は、シリアルライゼーションが失敗した場合にレポートされる可能性のあるエラーコードです。

Creative Suite 6 のエラーコード

1	コマンドラインで渡された引数が無効です。
14	不明なエラー。
19	provXML が見つかりません。
20	永続的なライセンス認証の猶予の読み込みに失敗しました (不正な形式の xml、破損または失われた Enigma データ、その他のエラーが原因です)。
21	PCF/SLCache を更新できません。
22	PCF/SLCache セッションを開くことができません。
23	prov.xml ファイルに無効な空のタグの値が含まれています。
24	Enigma データにインストール済みの製品とは異なる言語のシリアル番号が含まれています。
25	ターゲットコンピューターに製品がインストールされていないか、シリアル番号の暗号データをデコードできませんでした。

Creative Suite 5.5 および Creative Suite 5 のエラーコード

1	コマンドラインで渡された引数が無効です。
2	入力されたシリアル番号は有効なアドビのシリアル番号ではありません。
3	シリアル番号の形式が正しくありません。
4	ターゲット製品に対応するシリアル番号のロケールがインストールされていません。
5	入力されたシリアル番号は現在のオペレーティングシステムに対応していません。
6	入力された LEID に対応する製品はターゲットコンピューターにインストールされていません。
7	ユーザーにキャッシュデータベースへの書き込みアクセス権がありません。
8	AMTConfigPath が正しくないが見つかりません。インストールが失敗したか完了していない可能性があります。
9	入力されたシリアル番号はアップグレード用の種類です。
10	古いシリアル番号と新しいシリアル番号が同じです。
11	キャッシュデータベースまたは PCD データベースにアクセスできません。
12	入力された疑似シリアル番号は有効なコードではありません。
13	置き換えられる古いシリアル番号がターゲット製品に含まれていません。

製品 ID

シリアルライズされた製品 (Adobe Application Manager Enterprise Edition で作成した展開パッケージからインストールされた製品など) は、ライセンス ID (LEID) によって一意に識別されます。例えば、製品名が *Photoshop CS5 Extended* で、Mac OS にインストールされている場合、LEID は `Photoshop-CS5-Mac-GM` です。

シリアル番号を照会または変更しようとするときに、インストールされた製品を識別するには LEID を使用します。

LEID の一覧については、http://www.adobe.com/go/getactivated_jp を参照してください。

ロケールコード

次の表は、指定のロケールのシリアルサイズのみを削除する場合に「[unserialize オプション](#)」で利用できるロケールコードの一覧です。

da_DK	デンマーク語
de_DE	ドイツ語
en_GB	英語（各国共通）
en_US	英語（米国）
es_LA	スペイン語（中南米）
es_MX	スペイン語（メキシコ）
es_NA	スペイン語（北米）
fi_FI	フィンランド語
fr_CA	フランス語（カナダ）
fr_FR	フランス語（フランス）
hr_HR	クロアチア語
hu_HU	ハンガリー語
it_IT	イタリア語
ja_JP	日本語
ko_KR	韓国語
nb_NO	ノルウェー語
nl_NL	オランダ語
pl_PL	ポーランド語
pt_BR	ポルトガル語（ブラジル）
ro_RO	ルーマニア語
ru_RU	ロシア語
sk_SK	スロバキア語
sl_SI	スロベニア語
sv_SE	スウェーデン語
tr_TR	トルコ語
uk_UA	ウクライナ語
zh_CN	中国語（簡体字）
zh_TW	中国語（繁体字）

シリアライズの例

Creative Suite 6

1. 体験版モードでインストールした Design Standard Suite をシリアライズするとします。この場合は、次のコマンドを実行します。

```
adobe_prtk --tool=Serialize --leid=DesignSuiteStandard-CS6-Win-GM
--serial=Design_Standard_Serial_Number --adobeid=Your_Adobe_ID
```

このコマンドは、Design Standard Suite をシリアライズします。

注意: このコマンドを実行するには、インターネットに接続する必要があります。

このコマンドを実行した後、インターネットに接続された環境で、次回いずれかの製品を起動したときに製品のライセンス認証が行われます。

2. 英語（米国）ロケールについて、Mac OS 上の Adobe Photoshop のシリアライゼーションを削除するとします。この場合は、次のコマンドを実行します。

```
adobe_prtk --tool=UnSerialize --leid=Photoshop-CS6-Mac-GM [ --locale=en_US ]
```

3. 体験版モードで InDesign Server をインストールするとします。InDesign Server にはユーザーインターフェイスがないので、コマンドラインを使用して、ターゲットコンピューターで体験版を起動します。この場合は、InDesign Server の体験版パッケージをビルドします。Windows では、体験版パッケージを展開する SCCM プログラムをビルドするときに、InDesign Server MSI を呼び出す標準的な msiexec コマンドラインを指定し、これによって InDesign Server の体験版を展開します。

次に、ターゲットコンピューターで次のコマンドを実行して体験版を起動します。

```
adobe_prtk --tool=StartTrial --leid=InDesignServer-CS6-Win-GM
```

このコマンドは、このコンピューターで InDesign Server の体験版ライセンスを起動します。

4. インストーラーを実行して InDesign Server をインストールし、後でサインインすることを選択したとします。CS6 では、製品のユーザー登録は必須ですが、InDesign Server にはユーザーインターフェイスがないため、次のコマンドでシリアライズしてユーザー登録を行う必要があります。

```
adobe_prtk --tool=Serialize --leid=InDesignServer-CS6-Win-GM
--serial=Serial_Number --adobeid=Your_Adobe_ID
```

5. InDesign Server を体験版モードでインストールし、シリアライズするとします。InDesign Server にはユーザーインターフェイスがないため、次のコマンドでシリアライズしてユーザー登録を行う必要があります。

```
adobe_prtk --tool=Serialize --leid=InDesignServer-CS6-Win-GM
--serial=Serial_Number --adobeid=Your_Adobe_ID
```

6. Adobe Creative Suite Master Collection が含まれる Windows 7 イメージを展開するとします。大まかな手順は以下の通りです。

- Windows 7 のインストールプログラムに Creative Suite Master Collection の体験版パッケージを展開します。
- 次のコマンドを使用して prov.xml ファイルを作成します。

```
adobe_prtk --tool=VolumeSerialize --generate --serial=<serialnum>
--leid=MasterCollection-CS6-Win-GM --regsuppress=ss --eulasuppress
```

- 次のコマンドを実行してパッケージのシリアライズとライセンス認証を行います。

```
adobe_prtk --tool=VolumeSerialize --stream
```

企業の管理者は、Ghost などの標準的なイメージングツールを使用して、プロビジョニングされた Adobe Creative Suite Master Collection が含まれる Windows 7 オペレーティングシステムの ISO イメージを作成できるようになりました。この ISO イメージは、企業内の複数の補助システムで復元できます。補助システム上での追加のプロビジョニングは必要ありません。

Creative Suite 5.5 および Creative Suite 5

- 一部のユーザーには Design Premium Suite のすべてのアプリケーションを展開し、他のユーザーには Photoshop のみを展開するとします。この場合、次の 2 つのパッケージをビルドします。

- パッケージ 1：完全な Design Premium Suite。このパッケージをビルドする場合、Design Premium Suite のシリアル番号を指定し、インストールするアプリケーションをすべて選択します。これは、パッケージの標準的な展開では、ターゲットコンピューターをすぐに使用できるように、Suite のインストールとシリアルライズが実行されることを意味します。結果の payloads/ フォルダーはターゲットの展開場所に生成され、アプリケーションペイロードのすべてが格納されます。
- パッケージ 2：Photoshop のみ。このパッケージをビルドする場合は、体験版のインストール（つまりシリアルライズのないもの）を選択し、インストール用に Photoshop のみ（およびオプションの推奨ペイロードすべて）を選択します。結果のパッケージを、ReplaceSN ツールのコピーと同じフォルダーでステージングします。

Windows では、パッケージ 2 を展開する SCCM プログラムをビルドするときに、Photoshop MSI を呼び出す標準的な msiexec コマンドラインを指定し、これによって Photoshop の体験版を展開します。次に、2 番目のコマンドラインを追加します。

```
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --serialize=Photoshop-CS5-Win-GM --serial=<PS-sn>
```

この 2 番目のコマンドは、指定された Photoshop のシリアル番号を使用して体験版の使用を許諾します。

- Master Collection からビデオアプリケーションを展開するとします。Master Collection Suite のシリアル番号を指定し（保護されたコンテンツをインストールするため）、適切な製品（Photoshop、Adobe Premiere® Pro、および After Effects®）を選択して、1 つのパッケージをビルドします。

Windows では、SCCM プログラムをビルドしてこのパッケージの展開を実行する場合、5 行のコマンドを記述します。最初の行は、標準的な msiexec の呼び出しで、その後次のように続けます。

```
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --unserialize=MasterCollection-CS5-Win-GM
```

これによって、パッケージのビルドに使用した Master Collection Suite のシリアル番号を削除します。

```
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --serialize=Photoshop-CS5-Win-GM --serial=<PS-sn>
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --serialize=Premiere-CS5-Win-GM --serial=<Premiere-sn>
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --serialize=AfterEffects-CS5-Win-GM --serial=<AE-sn>
```

次に、これらのコマンドによって、実際に展開する 3 つのアプリケーションをシリアルライズします。

- 英語（米国）ロケールについて、Mac OS 上の Adobe Photoshop のシリアルライゼーションを削除するとします。この場合は、次のコマンドを実行します。

```
adobe_prtk --tool=ReplaceSN --unserialize=Photoshop-CS5-Mac-GM
[ --locale=en_US ]
```